

根堀台

第6号



由利中学校 学校便り
平成三十年五月二十五日(金)

発行者 校長

頑張れ「チーム由利中！」

地区陸上競争大会 壮行会を実施

5/15



団長の〇〇さん

本日二十五日朝、三十一日に行われる地区陸上競争大会の選手の壮行会がありました。総体の応援の練習も兼ねて、すでに練習を重ねてきました。美術部員を中心に応援団が組織され、数日前から応援団の練習の声が校内に響いていました。校歌応援バージョンの後、選手紹介を行いました。その際に壇上の選手は、一人一人がポジティブな決意

表明を行いました。

生徒代表激励の言葉は、〇〇さんは、選手の皆さんがとても「かっこいい」という話していましたが、私も、選手の態度やスピーチを聞いてとても清々しいチームだと感じました。

最後に選手代表の〇〇さんの決意表明は、みんな協力して頑張ってくるという力強いものでした。水林陸上競技場では、伝



選手代表挨拶 〇〇さん

統の紫のユニホームが躍動すること間違いありません。本当に素晴らしい壮

英検I B A実施

行会でした。応援団に感謝します。

秋田県では、中学校三年生を対象に、検一回分

の受験料を補助していましたが、今年度からは、二・三由利本荘市の中二・三年生を対象にして英検I B Mという検査を実施することになりました。

この検査は、検定では無くて、自分の英語の能力が、英検では、どの位の級の力があるかを把握できる調査です。以下に、検査で獲得したスコアで英検では、

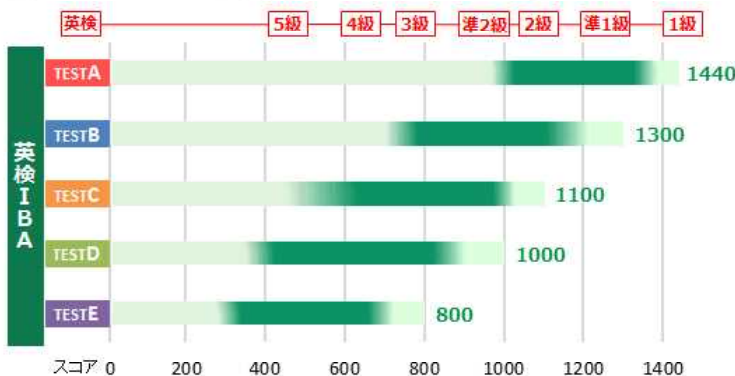
何級の力があるかの対応表をのせています。英検を受験する際の目安となりますので、結果が出ましたら参考にして、受験して下さい。

ちなみに、検査料金は、秋田県で出していただきます。

英検とIBAの対応表です

	TEST A	TEST B	TEST C	TEST D	TEST E
英検(目安)	準1級・2級レベル	2級~3級レベル	準2級~4級レベル	3級~5級レベル	4級・5級レベル
IBA CSE スコア	0~1440 Reading 0~720 Listening 0~720	0~1300 Reading 0~650 Listening 0~650	0~1100 Reading 0~550 Listening 0~550	0~1000 Reading 0~500 Listening 0~500	0~800 Reading 0~400 Listening 0~400
問題数/ 試験時間	65問/45分 Reading 35問/25分 Listening 30問/20分	65問/45分 Reading 35問/25分 Listening 30問/20分	65問/45分 Reading 35問/25分 Listening 30問/20分	65問/45分 Reading 35問/25分 Listening 30問/20分	60問/45分 Reading 35問/25分 Listening 25問/20分

出題レベルとスコア範囲 (■スコア範囲 ■測定の範囲)



※2016年4月1日よりCSE2.0でスコアを表示します。

参考：英検各級の満点CSEスコア

級	CSEスコア	R	L	S	W
1	3400	850	850	850	850
準1	3000	750	750	750	750
2	2600	650	650	650	650
準2	2400	600	600	600	600
3	2200	550	550	550	550
4	1500	500	500	500	—
5	1275	425	425	425	—

R=Reading(読む)、L=Listening(聞く)
S=Speaking(話す)、W=Writing(書く)

6月の主な行事

日	曜	行事
1	金	火曜日授業 市教委訪問
2	土	全県中学校選抜バレーボール大会
~		全県選抜ソフトボール大会矢島大会
3	日	東由利招待野球大会
4	火	1,2年内科健診
7	木	月曜授業 1年耳鼻科健診
8	金	前期中間テスト
11	月	部活動強調期間(~22日)
13	水	キャリア講話(1年) 小中合同あいさつ(~14日)
15	金	スクールカウンセラー在校日 漢検
19	火	学校給食巡回
22	金	総体壮行会
23	土	地区総体
24	日	
25	月	振替休業日
26	火	
27	火	PTA奉仕作業
29	金	小中授業実践交流会 スクールカウンセラー在校日

- 7/2 2年マナー講座
- 7/5 高校説明会 PTA授業参観
- 7/6 避難訓練(不審者)
- 7/9~三者面談

校長の独り言

私が以前、本校に勤務していた頃、合宿所がありました。部室の向こうの道路を隔てた駐車場のところにあったはずですが、その頃すでに合宿所は老朽化が著しく、サッカー部の合宿も、別の施設を使っていました。(当時は、総体前に各部で三泊四日の合宿をしていました。)

その合宿所が使われなくなったのは、老朽化のためではありませんでした。隣接する縫製会社「〇〇」

の中国人研修生の宿泊に町で貸与させたためです。合宿所には、少年自然の家のような四人〜八人収容できる部屋が何部屋もあり、四十人程度は利用できる大きな施設です。更に、調理場や大きな風呂もあり、古くて汚い意外は、問題はないと思っていました。

合宿所が使えなくなっ

てからは、合宿をする部はどんどん無くなりました。ある日、部活を終え、翌日の授業の準備をして、九時近くに学校閉門して真っ暗な中を施錠していた時、女の泣き声が外から聞こえてきて、余りの気味悪さに体が凍る様な思いをしました。校舎前庭のベンチで二人の人影が見えます。恐る恐る近づき、「どうしたのですか」と声をかけると、〇〇家の〇〇さんの様な言葉を発して、立ち去りました。中国の研修生がホームシックか仲間と喧嘩でもしたのでしよう。由利中において一番びびった瞬間のひとつのお話でした。

「続く、